

令和7年度版『伝え合う言葉 中学国語3』年間指導計画・評価計画（案）

【第3学年】目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

- 凡例 ま 教科書記載のまなびリンク（二次元コード）の活用が有効なところ
教 P00 教科書の関連ページを参照
ICT ICTの活用が有効なところ

指導時期	単元	教材名	配当時数 ()内は含まれる領域の時数	教材目標	学習活動の流れ *は学習活動の留意点	学習指導要領との対応		評価規準(例)
						知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
4月	一	春に	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 「ぼく」の「気持ち」がどのような言葉で描かれているかを理解し、語感を磨く。 ● 詩に描かれた物事の構成や展開に注意し、作品を批評する。 	<p>1 「この気持ちはなんだろう」という表現が繰り返されている意図や効果を考える。</p> <p>* 同じ表現であって、一つ一つに込められた意味に違いや変化があることを確認し、それぞれの「気持ち」は何かを考える。</p>	(1)イ	C(1)ウ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 [C(1)ウ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について読み、学習課題にそって評価しようとしている。</p>
		立ってくる春	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の種類とその特徴について理解を深める。 ● 文章の種類を踏まえて構成や展開の仕方を捉え、内容を評価する。 	<p>1 「学びナビ」を読み、これまでの学習を振り返るとともに、学習の見通しを立てる。全文を通読し、作品の構造を整理したうえで、語り方に注目し、本教材の特徴について理解する。</p> <p>2 筆者がどのようにして「立春」の「かたち」を決定したのか、祖母と筆者の見方・考え方を比べ、筆者の見方・考え方の特徴を踏まえたうえで、その経緯について理解する。</p> <p>* 祖母と筆者の見方・考え方の違いを実感させたり、「暦」や「概念」の意味について調</p>	(1)ウ	C(1)ア◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 [(1)ウ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 [C(1)ア]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について捉え、学習課題にそって評価しようとしている。</p>

				<p>べさせたりして、祖母の見方・考え方を理解させるようにする。</p> <p>3 大人の「私」にとっての「『春が立つ』謎」について考える。そこから「立春」を「かたち」にすることの意味について考える。また、これまでの学習を振り返って本教材についてまとめたうえで、随筆の特徴についてまとめる。</p>				
	なぜ物語が必要なのか	3	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類とその特徴について理解を深める。 文章の種類を踏まえて構成や展開の仕方を捉え、内容を評価する。 	<p>1 『立ってくる春』での学びを振り返り、学習の見直しをもつ。筆者がどのような物語を通して読者に考えさせようとしているか理解する。</p> <p>2 読み手にとっての物語の役割について、筆者の考えを本文の言葉にそって理解する。筆者の物語に対する考え方について、自身の経験を振り返って評価する。</p> <p>*筆者の考えに対してどう思うか、各自の経験を振り返りながら考えるようにする。具体が想像できない場合は、具体的な場面が想起されるような問いを投げかけて考えるようにする。</p> <p>3 本文では書かれていない物語について取り上げ、〈物語〉を問い深める。随筆の特徴についてまとめる。</p>	ま ま	(1)ウ	<p>C(1)ア</p> <p>C(1)ウ◎</p> <p>C(2)イ</p>	<p>【知識・技能】 文章の種類とその特徴について理解を深めている。 [(1)ウ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 [C(1)ウ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>
5月	【話す聞く】 情報を確かめてスピーチをする	話聞1	<ul style="list-style-type: none"> 信頼できる情報が確かめて、スピーチをする。 	<p>1 スピーチの内容を検討してスピーチを行う。</p> <p>*①ニュース、②それに対する多様な考え、③ニュースに対する自分の考え という三つの要素から内容と構成・展開を検討する。</p>	ICT	(2)イ	<p>A(1)ア◎</p> <p>A(2)ア</p>	<p>【知識・技能】 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 [(2)イ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 [A(1)ア]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に場の状況に応じて言葉を選び、学習課題にそって提案しようとしている。</p>

	私	4	<ul style="list-style-type: none"> 読書が自分の生き方や社会との関わり方を支えていることを理解する。 作品を読んで人間や社会などについて考えを巡らせ、自分の意見をもつ。 	<ol style="list-style-type: none"> 「学びナビ」を確認し、「記号」と「象徴」の違いについて理解し、「記号」としての「個人情報」という捉え方と「私」というタイトルがどのように結びつくのか、本文にどのように表されるのかを考えながら、通読する。 前半部と後半部のできごとを整理し、「私」の「市民対応」と「司書」の「市民対応」を比較したうえで、役所に来た「女性」と図書館に行った「私」は何を問題にし、どのような結果になったのかをまとめる。 「二重の情報」に対する「女性」「司書」「私」の捉え方の違いについて考えを交流する。 <p>* これまでの学習をもとに、「女性」「司書」「私」の捉え方の違いがどのような考え方の違いによるものなのかを考えるように促す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分たちの生活や社会の中で、記号として捉えられているものにはどのようなものがあるのか、話し合う。 	ま	(3)オ	C(1)イ C(1)エ◎ C(2)イ	【知識・技能】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 [(3)オ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 [C(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。
二	薔薇のボタン	2	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて本や文章などを読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする。 	<ol style="list-style-type: none"> 全文を通して読み、感想や関心をもった点などについて「読書の記録」を取り、記録を使いながら交流する。 さらに本の世界を広げるためにビブリオバトルを行う。 	ま ま ま ICT	(3)オ◎	C(1)イ C(1)エ◎ C(2)ア	【知識・技能】 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 [(3)オ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 [C(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 本文から捉えたことをもとに、積極的に自分の考えを伝えようとしている。

6月	【話す聞く】 構成を工夫して主張をまとめる	話聞 3	<ul style="list-style-type: none"> ● 主張と根拠の関係について確かめながら、話す内容を検討する。 ● 自分の立場や意見を明確にし、論理の展開や話の構成、表現を工夫しながら話す。 	1 スピーチのテーマを決めて主張とその根拠とを検討する。 2 スピーチの構成・展開を検討する。 *スピーチの構成を検討するには、スピーチの構成・展開の仕方を意識することや、主張とその根拠との関係を意識することが重要であることを理解できるようにする。 3 スピーチを行う。	ま ICT	(2)ア	A(1)イ◎ A(1)ウ A(2)ア	【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。〔A(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 相手を説得できるように、すすんで論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、学習の見通しをもって主張しようとしている。
	メディア・リテラシーはなぜ必要か？／新聞が伝える情報を考える	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報の信頼性の確かめ方について考える。 ● メディア・リテラシーについての理解を踏まえ、複数の社説を批判的に読み、新聞社としての意見や主張について考える。 	1 『メディア・リテラシーはなぜ必要か？』を読み、メディア論の基本について理解を深める。筆者の主張の組み立てに用いられている論理を理解し、その情報の信頼性を吟味する。 2 新聞は情報をどのように区分し、どのように構成して伝えるのかを理解する。二つの社説の同じできごとへの社会的意味づけの意見の述べられ方を比較し、情報の向こうにいる者の存在を理解する。	ま ICT	(2)イ	C(1)ア C(1)イ◎ C(2)ア	【知識・技能】 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。〔C(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、今までの学習を生かして考えたことについてまとめようとしている。
	漢字の広場 1 呉音・漢音・唐音	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 漢字の音の歴史についての理解を深める。 	1 「呉音」「漢音」「唐音」について理解を深め、具体的な漢字について漢和辞典で調べたり、空白に共通で入る漢字を選んで熟語を完成させたりしながら、身近な文章での使われ方を理解し使ってみる。		(1)ア (1)イ◎		【知識・技能】 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。
	文法の小窓 1 助詞のはたらき 文法（解説） 1	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 助詞のはたらきについて理解する。 	1 教科書 P 72『文法の小窓 1』の会話文を読み、助詞「から」「の」の使われ方の違いを考え、教科書 P 284～285 を用いて、格助詞・接続助詞のはたらきを理解する。	ま	内容の取扱い 1(2) (2年(1)オ◎)		【知識・技能】 ◎助詞の働きについて理解している。〔第二学年(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで助詞に興味・関心を抱き、粘り強く助詞の種類と働きを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習に生かし

		助詞のはたらき			2 教科書 P 285～287 を用いて、副助詞・終助詞のはたらきを理解し、助詞と似たはたらきをする語句や「の」の識別について理解する。				て、学習の見通しをもって適切に表現・理解しようとしている。
7月	三	A I は哲学できるか	5 (書1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 筆者のあげている言葉の内容を捉える。 ● 論理の展開の仕方を捉えて文章を批判的に読み、筆者のものの見方や考え方について自分の意見をもつ。 	<p>1 「学びナビ」を確認し、筆者の立場やものの見方、考え方に注目しながら全文を通読する。</p> <p>2 「哲学的な思考パターン」「切実な哲学の問い」の内容について話し合い、筆者のいう「哲学」とはどのようなものか整理する。</p> <p>3 文末表現に注目しながら、筆者がこれからの人工知能と哲学の関係をどのように捉えているか確認する。また、筆者が「そういうことは当分は起きないと私は予想する。」と述べている理由について確認する。</p> <p>4 「A I は哲学できるか」という題名をつけた筆者の意図について考える。これまでに読んできた説明的な文章とも比べながら筆者の推論の過程を批判的に読み、「A I は哲学できるか」という問いに対する自分の考えを書く。</p> <p>*ただ筆者の意見に賛成・反対、「哲学できる／できない」というような単純な文章を書かせるのではなく、条件づけたり、仮説を立てて限定をかけたりにしながら、推論を前提にして論を展開している点を踏まえて批判的に読む。</p> <p>5 第4時に書いた考えについて交流して話し合い、学習を振り返る。</p>	ま ICT	(1)イ	<p>C(1)ア C(1)イ◎ C(1)エ C(2)ア</p> <p>B(1)ア B(2)ア</p>	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ]</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 [C(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫し、学習課題にそって批評する文章を書くようとしている。</p>
		【書く】	書5	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報の信頼性の確かめ方を理解し、活用する。 	<p>1 「学びナビ」を読み、社会問題の中から興味のあるテーマを選ぶ。</p>	ま ま	(2)イ	<p>B(1)ア◎ B(2)ア</p>	<p>【知識・技能】 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 [(2)イ]</p>

		客観性や信頼性のある記事を書く		<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて題材を決め、伝えたいことを明確にして記事にする。 	<p>2 情報を集め、記事の材料にできるかどうか、信頼性を確認する。</p> <p>* 情報を得た時点で記事に引用しようとするのではなく、同様の調査を行った結果がないか探したり、図書やインターネットを使ってテーマにそった情報を探したりして、信頼性を確かめる。</p> <p>3 伝えたいことを明確にして記事を書く。</p> <p>4 書き終わった記事を推敲する。</p> <p>5 学習者どうしで記事を読み合う。</p>	ICT			<p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。[B(1)ア]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に集めた情報の客観性や信頼性を確認し、学習の見通しをもって発表のための資料を作成しようとしている。</p>
		漢字の広場2 熟字訓	1	<ul style="list-style-type: none"> 熟字訓についての理解を深める。 	<p>1 熟字訓についての基礎的な知識について確認する。理解を深めるために、「老舗」「弥生」「固唾」「時雨」などの言葉の読み方と意味を実際に使われている文章の中で確かめる。</p>		(1)ア (1)イ◎		<p>【知識・技能】 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで繰り返し学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>
		言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 言葉（解説） 1 和語・漢語・外来語	1	<ul style="list-style-type: none"> 和語・漢語・外来語について理解し、効果的に使い分ける。 	<p>1 和語・漢語・外来語の違いや由来を理解し、類義語で語種の違うものをあげ、効果的な使い分けについて考える。</p>	ま	(1)イ◎ (3)ウ		<p>【知識・技能】 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。[(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く言葉の特徴や使い分けを理解し、学習課題にそって効果的な使い方を考えようとしている。</p>
9月	四	async——同期しないこと	6（話聞1）	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張とその根拠を関係づけて 	<p>1 「学びナビ」を読み、『async』と『問いかける言</p>	ま	(2)ア	C(1)ウ◎ C(1)エ◎	<p>【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。[(2)ア]</p>

	問いかける言葉		<p>読み、筆者の立場やものの見方、考え方を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 構成や展開、表現の仕方を比べて読み、社会や他者との関わりについて考える。 	<p>葉』について、筆者の主張とその根拠（主張のよりどころ）に着目しながら通読する。</p> <p>2 『async』の文章の構成や展開、表現の仕方について、図式化しながら整理する。</p> <p>3 『問いかける言葉』の文章の構成や展開、表現の仕方について、図式化しながら整理する。</p> <p>* 筆者の主張について読んだことを図式化する際は、表現を結びつけて考えたことを示すなど、本文にそってどのように読んだのかがわかるようにまとめさせる。</p> <p>4 それぞれの文章の「不寛容」「新しい」という言葉に着目し、説明の仕方や筆者の主張の共通点や相違点についてまとめる。</p> <p>5 それぞれの文章における筆者の主張の仕方を比べながら、表現の効果や読み手に与える印象について話し合う。</p> <p>6 「不寛容」なことに対するそれぞれの筆者のものの見方や考え方の違いを捉えて、社会のあり方や他者との関わり方について、自分の考えをまとめて話し合う。</p>		<p>C(2)ア A(1)ア A(2)イ</p>	<p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。</p> <p>[A(1)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。[C(1)ウ]</p> <p>【思考・判断・表現】◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。[C(1)エ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く文章を読んで自分の考えを深め、学習課題にそって考えたことについて話し合おうとしている。</p>
--	---------	--	---	--	--	----------------------------------	--

	【書く】 説得力のある 批評文を書く	書 5	<ul style="list-style-type: none"> 取り上げる資料と自分の知識や経験との関係について整理する。 多様な読み手を説得できるように論理の展開を考えて、文章の構成や表現の仕方を工夫する。 	<ol style="list-style-type: none"> 「学びナビ」を読んで教材のねらいを理解したうえで、比較や関係づけを生かした批評文の書き方について理解する。批評する観点を決めて対象を観察し、気づいた特徴を分析する。 判断や評価を伝えやすい構成を考える。 効果的な論理展開や書き出し方やまとめ方、資料の適切な引用を考え、批評文を書く。 <p>*選んだ対象の価値を効果的に伝えるため、相手にとってわかりやすい書き方や、説得力のある引用などを意識するよう促す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 批評できているかに注意して推敲する。 できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。 	ICT	(2)ア	B(1)イ B(1)ウ◎ B(2)ア	<p>【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 [(2)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 [B(1)ウ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報の信頼性の確かめ方を理解し、学習の見通しをもって批評する文章を書こうとしている。</p>
10月	文法の小窓2 助動詞のはたらき 文法（解説） 2 助動詞のはたらき	2	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞のはたらきについて理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> P109『文法の小窓2』を読み、三つの「止められる」には、どのような意味の違いがあるか考え、「れる・られる」を例にして助動詞のはたらきについて理解する。 P290・291を用いて、判断を表す助動詞と助動詞相当の語句について理解するとともに、いくつかの語の識別を行い、説明する。 	ま	内容の取扱い 1(2) (2年 1)オ◎)		<p>【知識・技能】 ◎助動詞の働きについて理解している。 [第二学年(1)オ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に助動詞に興味・関心を抱き、助動詞の働きを理解し、その理解を「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に生かして、適切に表現・理解しようとしている。</p>
	実用文の情報を捉えて生かす	3(書1)	<ul style="list-style-type: none"> 実用文の特徴を理解する。 さまざまな実用文を読み、内容や表現の工夫を捉える。 	<ol style="list-style-type: none"> 効果的な「お知らせ」の方法について、身のまわりの「お知らせ」の文章を探して読み、文章によってどのような特徴や工夫があるのかを調べる。 実用文の目的や意図を理解して、紹介文に必要な項目をあげる。 	ICT	(1)ウ	C(1)ア◎ C(1)ウ C(2)ウ B(1)ア B(2)イ	<p>【知識・技能】 話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 [(1)ウ]</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 [B(1)ア]</p>

				3 必要な情報が伝わるように、紹介文を書く。				【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。[C(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に必要な情報を精査・解釈し、今までの学習を生かして実生活への生かし方を考えようとしている。
	言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現 言葉（解説）2 相手に対する配慮と表現	1	● 場面や相手に応じた配慮の表現の一つとしての敬語のはたらきについて理解する。	1 場面や相手に応じた敬語の使い方について、教科書P114、P275～277などのさまざまな事例を使い、練習しながら理解を深める。	ま ま ま ま	(1)エ◎		【知識・技能】 ◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。[(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く相手や場に応じた言葉遣いを理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。
五	旅への思い	4	● 歴史的背景に注意しながら音読し、文章の特徴を理解する。 ● 句にこめられた作者の心情や情景について話し合ったり、古典の一節を引用した文章を書いたりする。	1 学習の見通しを立て、『おくのほそ道』の概要とその歴史的背景を知る。 2 「旅立ち」の部分を読み、芭蕉の旅への思いについてを発表する。 * 旅立ちを前にした芭蕉の気持ちや、住んでいた庵を人に譲ってしまった理由などについて感想を述べ合い、旅に対する芭蕉の特別な心情について考える。 3 「平泉」の部分を読み、描かれている情景と芭蕉の心情を想像する。 4 「立石寺」の部分を読み、描かれている情景と芭蕉の心情を想像する。印象に残った句を引用し、描かれた内容を紹介する文章を書く。	ま ま ま ま ま ICT	(3)ア◎ (3)イ	C(1)ア C(1)ウ◎ C(2)イ	【知識・技能】 ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。[(3)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。[C(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについての理解に粘り強く取り組み、今までの学習を生かして、考えたことを説明しようとしている。
	和歌の調べ	3	● 和歌の修辞と歴史的背景を意識しながら、そのリズムを味わう。 ● 和歌に表れた古人の感じ方やものの見方を理解する。	1 全文を通読したのち、『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』のそれぞれの違いに着目しながら、和歌を声に出して読み、そのリズムを味わいながら、意味を考える。 2 和歌を一首選び、その歴史的背景や作者の心情について調べ、発表する。	ま ま	(3)ア (3)イ◎	C(1)ア C(1)ウ C(1)エ◎ C(2)イ	【知識・技能】 ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。[(3)イ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、古典の文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。[C(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いにつ

				<p>3 歌に表れた、自然や人間に対する作者の思いについて自分の意見を持ち、それぞれの考えを交流する。</p> <p>*自然や人間に対する思いのうち、現代を生きる人と古人とで共通している部分と異なっている部分について着目するよう促す。</p>				<p>いて理解し、今までの学習を生かして考えたことを積極的に説明しようとしている。</p>
11月	風景と心情	3	<ul style="list-style-type: none"> 詩の形式や表現の工夫などを理解して、漢詩を音読し、暗唱する。 漢詩を読んで情景の描写を捉え、心情を理解する。 	<p>1 漢文訓読についての既習事項を確認し、李白や杜甫の詩について書き下し文をもとに、声の出し方や間のとり方を工夫して音読したり暗唱したりする。</p> <p>2 教科書P141「漢詩の表現の特徴」を参照し、李白や杜甫の詩について対句や韻について理解し、情景や心情の表現の仕方についてまとめる。</p> <p>3 前時までの学習を確認したうえで、好きな漢詩を選び、気に入った理由を発表する。</p>	ま ま ICT	(3)ア◎	C(1)ア C(1)ウ◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 ◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 [(3)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、古典の文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 [C(1)ウ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>
	最後の一句	2	<ul style="list-style-type: none"> わが国を代表する作家とその作品についてふれ、近代の小説や物語を読む。 	<p>1 作品を読み、いちの「最後の一句」は、なぜ佐佐たちの胸を刺したのかを理解する。</p> <p>*「最後の一句」とは何を指すかを確認したうえで、佐佐や役人たちはいちについてどう感じたか、本文に基づいて分析する。</p> <p>2 同じできごとを佐佐の一人称視点から書くとどうなるか考え、作品への理解を深める。</p>	ま	(3)オ◎	C(1)ア◎ C(2)イ	<p>【知識・技能】 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 [(3)オ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 [C(1)ア]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで文章を批評的に読み、学習課題にそって、考えたことを説明しようとしている。</p>
	漢字の広場3 異字同訓	1	<ul style="list-style-type: none"> 異字同訓についての理解を深める。 	<p>1 異字同訓についての文章を読み、理解する。異字同訓についての練習問題（意味の違いを確かめる、どのような漢字を書くのがふさわしいか確かめる）を行い、理解を深める。</p>		(1)ア (1)イ◎		<p>【知識・技能】 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 これまでに学習した漢字を書き、今までの学習を生かして文章の中で使おうとしている。</p>

	<p>言葉の小窓3 慣用句・ことわざ</p> <p>言葉（解説） 3 慣用句・ことわざ</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句とことわざのはたらきや使い方を理解する。 	<p>1 慣用句とことわざについて、P164『言葉の小窓3』とP278～280を読み、いろいろな慣用句、慣用句の性質、慣用句の意味の変化やことわざについて、知識を広げたり、実際に使ってみたりする。</p>	ま ま ICT	(1)イ◎ (3)ウ		<p>【知識・技能】 ◎慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使い、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く時間の経過による言葉の変化や世代や国による言葉の違いを慣用句とことわざを通して理解し、学習課題にそって実生活への生かし方を考えようとしている。</p>
六	俳句の味わい	2（書1）	<ul style="list-style-type: none"> 俳句の中の言葉の使われ方に注意し、語感を磨き語彙を豊かにする。 俳句の情景やその描かれ方について評価しながら読む。 	<p>1 「俳句の味わい」の鑑賞の仕方を踏まえて、「俳句十五句」から印象に残った俳句を選び、その理由を考える。</p> <p>*言葉の選び方や組み合わせ方に注目したり、自分の知識や経験などと結びつけたりしながら、どの俳句のどこが特に印象に残ったのかを発表する。</p> <p>2 コラムを読んで句会の手順や方法を理解し、クラス句会を行う。</p>	ま ICT	(1)イ	<p>C(1)ア C(1)ウ◎ C(2)イ</p> <p>B(1)ウ 内容の取扱い 1(2) (2年B(2)ウ)</p>	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。〔B(1)ウ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。〔C(1)ウ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。</p>
	初恋	1	<ul style="list-style-type: none"> 詩のもつ文体に注意して、その特徴がどこにあるかを理解する。 詩の構成や展開、表現の仕方などを味わって読む。 	<p>1 「文語定型詩」の特徴を捉えながら、音読したり暗唱したりして詩を味わう。</p> <p>*文語の意味や歴史的仮名遣いの読み方などに注目して、特徴を確かめる。</p>		(1)ウ	<p>C(1)ア C(1)ウ◎ C(2)イ</p>	<p>【知識・技能】 文章の種類とその特徴について理解を深めている。〔(1)ウ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。〔C(1)ウ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く文章の種類や構成について理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。</p>
12月	故郷	7	<ul style="list-style-type: none"> 理解や表現のために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使って語彙を豊かにする。 語りに着目しながら読み、人間や社会、自然についての自分の意見をもつ。 	<p>1 「学びナビ」を読み、一人称視点と三人称視点の語り方の違いが小説の表現に及ぼす特徴について理解したうえで、『故郷』が一人称で語られている効果について着目しながら全文を通読する。</p> <p>2 作品を五つの場面に分け、小見出しをつける。できごとを時間の順序に従って整理する。</p>	ま 教 P314	(1)イ	<p>C(1)ウ C(1)エ◎ C(2)イ</p>	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。〔C(1)エ〕</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで人間、社会、自然などについて自分の意見もち、学習課題にそって作品に対する批評文を書くようとしている。</p>

				<p>3 「私」の記憶の中にある故郷と現在の故郷の風景の様子を比べ、その描写の違いがもたらす印象について考える。</p> <p>4 「閩土」と「楊おばさん」について、「私」に対する二人の気持ちを想像し、過去と現在に分けてまとめる。</p> <p>5 「閩土」と「楊おばさん」について、過去と現在の二人のことを「私」はどのように捉えているか、意見とその理由を交流する。</p> <p>6 「思うに希望とは、……歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」について、「閩土」と「私」の「希望」は、どのように異なるのか考える。また、「私」の捉えている「地上の道」とはどのようなものなのか考える。</p> <p>* 「閩土」と「私」の「希望」はどのように異なるのか考え、「私」は「閩土」のどのような点について「偶像崇拜」を感じているのか、また、その「私」の捉え方について考えるようにする。</p> <p>7 『故郷』を読み、作品の特性や価値、表現方法の特徴などについて考え、批評文にまとめる。</p>					
		<p>【書く】 自己PR文を書く</p>	書2	<ul style="list-style-type: none"> ● 話や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ● 目的や意図に応じた表現になっているかを確認して、文章全体を整える。 	<p>1 書くための材料を集め、構成を検討して自己PR文を書く。</p> <p>2 自己PR文を読み合って検証し、書き直す。</p> <p>* グループで互いの文章を読み合い、交流カードに記入させる。否定的なことを書く場合は、改善方法まで書き加えるように示す。</p>	ま ICT	(1)ウ	<p>B(1)エ◎ B(2)ア</p>	<p>【知識・技能】 話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 [(1)ウ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確認して、文章全体を整えている。 [B(1)エ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く目的や意図に応じた表現になっているかなどを確認して、学習課題にそって自己PR文を書くようとしている。</p>

		【話す聞く】 評価しながらスピーチを聞く	話聞 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手や場に適した言葉を用いたスピーチになっているかを確認する。 ● 評価しながらスピーチを聞くことで、自分の考えを広げたり深めたりする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 スピーチの準備をする。 2 スピーチを行い、評価し合う。 <p>*スピーチの際に重要なこととして、聞き手として、スピーチの内容や表現について評価することを確認する。</p>	ICT	(1)イ	A(1)エ◎ A(2)ア	<p>【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 [A(1)エ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に聞き取った内容や表現の仕方を評価して、学習課題にそってスピーチを聞こうとしている。</p>
		漢字の広場 4 四字熟語	1	<ul style="list-style-type: none"> ● 四字熟語についての理解を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 四字熟語についての文章を読み、基本的事項について理解したうえで、練習問題を解き、さらに理解を深め、四字熟語を使った文章を作ってみる。 		(1)ア (1)イ◎		<p>【知識・技能】 ◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語について理解を深め、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 四字熟語の構成や意味を理解し、すすんで調べたり短文を作ったりしようとしている。</p>
1月	七	持続可能な未来を創るために――人間の生命・存在を考える／生命とは何か／地球は死にかかっている／水の星	3 (話聞 1 書 1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科書 P224～226 を読み、「最初の『問い』」を考える。 2 P227～230 を読み、「次の『問い』」について話し合う。 <p>*手塚氏が、人間のエゴイズムについて描いた作品を紹介することで、私たちのあたりまえに対して批判的な視点をもつようにする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 P227～230 を読み、P231の「最後の『問い』」について、SDGs の図表などを引用するなどして自分の考えを工夫して書く。 	ま ま ま ま ICT	(2)ア	A(1)オ◎ A(2)イ B(1)ウ◎ B(2)ア C(1)エ◎ C(2)ア	<p>【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 [(2)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 [C(1)エ]</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く論理の展開の仕方を捉え、学習課題にそって考えたことについて討論しようとしている。</p>
		【話す聞く】 意見を共有しながら話し合う	話聞 2	<ul style="list-style-type: none"> ● 出された意見の関係をおさえて話し合う。 ● 話し合いの進行の仕方を理解し、互いの考えを尊重し 	<ol style="list-style-type: none"> 1 合意形成の話し合いの仕方について学び、話し合いの準備をする。 2 班でお互いの意見を出し合い、共通点や相違点を整理して意見をまとめ、話し合いを振り返る。 		(2)ア	A(1)オ◎ A(2)イ	<p>【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 [(2)ア]</p> <p>【思考・判断・表現】 ◎「話すこと・聞くこと」において、進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 [A(1)オ]</p>

				ながら話し合い、結論を出す。					【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に相手や場に応じた言葉遣いを理解し、学習の見通しをもって討論しようとしている。
2月		【書く】 中学校生活をまとめて作品集を作る	書4	<ul style="list-style-type: none"> 自分の文章の収集と整理をする。 学習を振り返り、読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 作品を集め、作品集のテーマを決める。 2 作品集に入れる作品を選ぶ。 3 全体の構成を考えながら作品を並べ編集する。 <p>* 目次を構成する際は、作品集全体の内容がわかるように書いたり、読み手の好奇心を喚起するキーワードを提示したりするよう促す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4 友達と読み合う。 	ICT	(2)ア	B(1)ア B(1)イ◎ B(1)ウ B(1)エ B(1)オ B(2)イ	【知識・技能】 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ◎「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 [B(1)イ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に情報と情報との関係について理解を深め、これまでの学習を生かして発表のための資料を作成しようとしている。
3月	八	バースデイ・ガール	2	<ul style="list-style-type: none"> 自分と社会との関わりを支える読書の価値やはたらきについて理解する。 文章の構成や展開、表現の仕方について評価する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 印象に残ったところやおもしろいと思ったところについて、理由とともに交流する。 2 「彼女」はどんな願いごとをしたのか、自分が「彼女」だったらどんなことを願うかについて、互いの考えを交流する。作品の構成や展開、表現の仕方について感じたことをまとめる。 <p>* 自分だったら二十歳の誕生日に何を願うか考えて、交流させる。印象に残っている誕生日のできごとを回想させてもよい。</p>		(3)オ	C(1)ウ◎ C(2)イ	【知識・技能】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 [(3)オ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。 [C(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すずんで文章の構成や理論の展開、表現の仕方について評価し、学習課題にそって、考えたことを伝え合おうとしている。
		青春の歌	1	<ul style="list-style-type: none"> 無名性に着目しながら読み、短歌に描かれた青春というものについて自分の考えをもつ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 現代短歌とその批評を読み、短歌の世界の魅力にふれる。 <p>* 「青春」とは何歳くらいのことか、「青春」という言葉からどんなことを想像するかなど、具体的にイメージさせる。</p>	ま	(3)オ	C(1)ウ C(1)エ◎ C(2)ア	【知識・技能】 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 [(3)オ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 [C(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に文章の種類とその特徴について理解し、これまでの学習を生かして批評しようとしている。
		やわらかな想い	1	<ul style="list-style-type: none"> 詩の表現に着目して読み、人間や社会、自然について 	<ol style="list-style-type: none"> 1 詩を読んで、「言葉」と「想い」の関係について自分の考えをもつ。 		(1)イ	C(1)エ◎ C(2)イ	【知識・技能】 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使

				の自分の意見をもつ。	* 「言葉の記号で置き換えることのできない想い」にはどんな価値があるのかについてや、この詩が描くような言葉にできないことや言葉にできないときがあることについて、考えるように促す。				うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ◎「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 [C(1)エ] 【主体的に学習に取り組む態度】 すすんで表現の仕方について読み、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。
--	--	--	--	------------	---	--	--	--	--

総時数 93 時間（うち、話すこと・聞くこと 10 時間、書くこと 20 時間）

※「月」は学習時期のおおよそのめやす。

※「配当時数」欄の（ ）内は、配当時数に占める「話すこと・聞くこと」「書くこと」の時数。

※本表に記載のない教材については、適宜扱う。